



湘南桜友会報

第13号 平成23年6月20日発行

発行責任者 竹内 猛
 編集責任者 佐藤 清崇
 事務局 茅ヶ崎市中海岸 4-4-11
 浦田憲一方

湘南桜友会第8回総会挨拶（抜粋）

湘南桜友会会長 竹内 猛（昭和33年 政経）

会員の皆様には、ご多用中にも拘らず本日の総会にご出席頂き、誠に有難うございます。

また、学校並びに桜友会本部そして近隣の友好桜友会からもご来賓として代表の方々のご来駕下さり、大変有難く光栄に存じ居ります。冒頭で東日本大震災で亡くなられた方々に黙祷を捧げて頂きましたが、

改めてこの大震災で被災された方々に心からお見舞申し上げます。なお、被災者への義援金を後程募集いたしたく、何卒宜しくご協力の程お願い申し上げます。募金は桜友会本部を通じてお届け致します。

さて、去る3月11日の大地震の際は、皆様如何お過して

したか。何らかの被害を蒙られた方は、おられなかったでしょうか。私事ですが、私はその時、庭で植木の水撒きを終え、水道の栓を締めようと下を向いた途端、急激な目眩を感じ「昨日同年の坂上二郎さんが脳出血で亡くなった。遂に俺にも来たか」と側の松の木に助けを求めると、これが又ユラユラと大揺れ。振り向くと家も松も電柱、電線もメトロノームの様に長い時間動いており、病気ではなく地震だと分かりました。お陰様でその日の我家は全て無事でしたが、何しろ築50年の古家なので、引続く余震がボディブローの様に効き、一週間後に風呂のタイル壁や水道管が壊れ全ての復旧に1ヶ月かかり、小被災者の経験をする事となりました。しかし東北太平洋沿岸の皆さんのご苦勞と比したら何でもありません。

然し、一寸したこの経験と被災地の想像以上の惨状報道が、かつて読んだことがある二冊の本を思い出させてくれました。

ところで今回の大震災の被害には、①地震②津波③原発破損放射能に加え④風評や便乗⑤社会的自粛

行動などの間接被害といわれるものがあります。前述の本は、これら全てに係わるものではありませんが、我々の先輩でもある作家の故吉村昭氏の労作「三陸海岸大津波」と「関東大震災」の二冊を、この機会に是非お読みになることをお推めいたします。

これは吉村氏が、ご自分の足と目と耳を使って被災地を廻り、生証人を探し種々な記録を発掘し、場所や傷跡を確かめ、年月をかけて纏め上げられたもので、素晴らしい記録文学であり

歴史書でもあり、將に後世の人にサバイバルの仕方を示す参考書でもあります。換言すれば、何時かは起るだろう首都圏大震災への心構えとその対応の段取り書ともいえます。何と素晴らしい先輩がおられたことでしょう。

最後に、本日の議案第2号の

会則改正に触れさせて頂きます。本件は「湘南桜友会の担当地域一守備範囲一の拡大」ということでもあります。これは、本部法人化に伴ない、組織委員会規則が改正され、その結果、神奈川県は4支部に分割という事になりました。即ち①神奈川（横浜・川崎他）②鎌倉（鎌倉・逗子他）③湘南④小田原（小田原・秦野他）の4つです。

これにより本会には議案書の通り新しく8市3町が加えられ、対象同窓生は1832名。これらの方々を組織化する事になる訳ですが、今回は現在の湘南桜友会を立ち上げた時の対象人数より多く、交通を含めた地理的、地誌的、地政的にもやゝ入り組んだ形であり範囲も広いわけです。従ってその方法については、今後の役員会で段取りを決め、本部とも話し合い乍ら、段階的に進めて参ろうかと思っています。組織化されなければ、昔通りの本部会報を受け取るだけの名目会員のまゝであり、これでは学校や地域のお役に立つ機会があまりありません。担当地域拡大に伴う業務への会員諸姉兄のご理解とご協力を、切にお願い申し上げる次第です。



～桜友会創立 90 周年記念第 8 回総会・懇親会～

5月21日(土) 会員、来賓者の方々53名のご参加のもと、当会初、昼間の開催時間で開催されました。平成22年度事業報告、決算報告、会則の一部改正、及び23年度事業計画が満場一致で承認されました。

引き続き、フジテレビ報道局解説委員の和田圭氏(昭和50年学習院大学法学部卒)による「政治報道の変遷と今後の政局について」の講演が開かれ、政界の生々しい実態と近々の政局の予想等貴重なお話を伺うことができました。



懇親会では学校側から内藤常務理事代理の池田募金部長、桜友会より葛城副会長、鎌倉桜友会より今年3月就任された石島新会長、また昨年11月に設立された小田原桜友会より小西幹事長が参加され、和気藹々とした雰囲気、いつまでも話が尽きないうちにお開きになりました。

○平成22年度決算報告

収入の部		支出の部	
年会費	324,000	通常運営費	426,176
事業収入	1,365,000	事業費	1,309,613
受取利子	405	学習院への寄付	100,000
前期繰越金	1,259,701	次期繰越金	1,113,317
合計	2,949,106	合計	2,949,106

○会則の一部改正

神奈川県(会員:14,941人)に於ける4支部の担当地域決まる

桜友会組織委員会規則改正により県内の各桜友会の担当地区は次の通りとなりました。

湘南桜友会(3,189人)

藤沢市(919)、茅ヶ崎市(410)、平塚市(288)、座間市(119)、綾瀬市(46)、高座郡(25)、中郡(142)、相模原市(586)、大和市(210)、

海老名市(137)、厚木市(193)、伊勢原市(98)、愛甲郡(16)

神奈川県(9,999人)

横浜市(7,105)川崎市(2,361)横須賀市(503)三浦市(30)

鎌倉桜友会(1,181人)

鎌倉市(875)逗子市(281)葉山町(30)

小田原桜友会(572人)

小田原市(261)南足柄市(50)秦野市(162)足柄上郡(67)足柄市下郡(32)

これに従い会則第4条(会員)第1項(1)(2)を改正しました。

<幹事の紹介>

～湘南桜友会と私～

品川 朋代(昭和60年短大人文学科文化史専攻)

学生時代の学習院との関わりは、短大での2年間という短いものですが、親しい友人もでき、有意義で楽しく、戸山キャンパスはとても居心地



の良い空間でした。ところが就職してからは、年に1回ある職域桜友会のパーティーに出る程度になってしまい、さらに結婚してからは、数名の友人とは交流があるものの、ほとんど何の関係も無い状態となってしまう寂しく感じておりました。

そんな時「湘南桜友会という会が発足するので、入会しませんか？」とのお誘いを受けて入会したのです。はじめて集まりに参加した時は「えっ、平均年齢が高い!大丈夫?」と正直なところ思いましたが、和やかな雰囲気の中、温かく迎えていただけたので、そのまま続けることができました。しかし、入会してそれほど経っていないのに「幹事に」とのお話をいただいた時には、再び「えっ!」と驚きました。諸先輩方にご指導をいただきつつ、何とか今に至っております。湘南桜友会の中では若手(?)で、まだ駆け出しの私ですが、少しでも会員の皆様のお役に立てればと思っております。何かと行き届かず、ご迷惑をお掛けすることも多々あると思いますが、これからもよろしくお願い申し上げます。

～ご報告と御礼～

佐藤 清崇 (平成17年 大学院政研)

この場をお借り致しましてご報告と御礼をさせていただきます。会員の皆様の大きなお力をいただきまして、この度の統一地方選挙にて、藤沢市議会議員選挙に当選させていただきました。皆様のご支援を背に、郷土のため、そしてより一層母校のために力を尽くして参ります所存でございます。本当にありがとうございました。



恵裕氏 (俳号 木下雅游) が当日に詠まれた俳句をご披露いたします。

～ 梅の花名のある墓の苔むして～
～ この寺に今年も出会ひ梅の花～



[22年度後期事業報告]

～クリスマス・年忘れ懇親会～

年末恒例の第7回「クリスマス・年忘れ懇親会」は12月5日(日)午後6時よりグランドホテル湘南(藤沢市)にて会員、同伴者、お子様59名が参加して着席、洋食・中華コース料理を楽しみながら開催されました。

アトラクションは茅ヶ崎在住の石坂澄雄さんのマジックショーで、真っ白い鳩が飛び出す技の数々に大人も子供も拍手喝采して、行く年を惜しみ、来る年に期待をかけながら親睦を深めました。



～東慶寺・観梅、坐禅会の報告～

穏やかに晴れた観梅日和に恵まれた2月7日(月)学習院昭和寮会(逍遥会)との共催による、東慶寺の観梅、安倍院長の墓参、座禅体験に18名の方が参加され親睦を深めました。

井上和尚の「釈迦の教えと座禅」の講話のあと、厳しくも、愛情あるご指導で座禅体験をしました。毎年、名古屋から参加される、昭和寮会OBの木下

～23年・春「ウォーキングの会」～

5月25日(水)は晴天に恵まれ、10名の参加者で、湘南の平塚を訪ねて、博物館/美術館等を見学したのち“花菜ガーデン”を散策し、美しいバラを満喫して皆さん11,000歩と頑張りました。



特に、平塚市立博物館では大磯丘陵周辺に見られる数多くの活断層を、模型、鳥瞰図などで紹介しており、JR御殿場線は国府津駅から箱根の北側を回り込み、御殿場駅を經由してJR沼津駅まで結んでいます。このラインがフィリピン海プレート、北米プレート、ユーラシアプレートの境界線をあらわしており、国府津・松田断層のようにA級の活断層も含まれています。地震研究者たちのあいだでは「いつ大地震が起こってもおかしくない」といわれており、身近に大地震が起きる可能性を実感しました。会員のみなさん、一見の価値があります。

23年秋は10月下旬を予定していますので、皆様のご参加をお待ちしております。

[平成23年事業計画・サークル活動予定]

～事務局便り～

- * 5月21日(土) 第8回総会、懇親会
(グランドホテル湘南)
- * 5月25日(水) 春季ウォーキングの会
(平塚・花菜ガーデン)
- * 6月下旬 会報発行(第13号)
- * 7月30日(土) 地引網大会
(辻堂海岸「五ろ引網」)
- * 9月18日(日) SUC交流・懇親会
(グランドホテル湘南)
- * 10月下旬 秋季・ウォーキングの会
- * 11月14日(月) 湘南を巡るゴルフ大会
(小田急・藤沢ゴルフクラブ)
- * 11月中～下旬 日帰りバス旅行
- * 12月1日 会報発行(第14号)
- * 12月11日(日) クリスマス・年忘れ懇親会
(グランドホテル湘南)
- * 2月初旬～中旬 鎌倉・東慶寺座禅と観梅
(平成24年) (学習院昭和寮会との共催)
- 未定 「文化事業など地元への還元になる
事業を計画」

1. 今年も、昨年に引き続き10万円を「湘南桜友会一同」として、「学習院サポーターズクラブ」に寄付いたしました。
2. 総会・懇親会の席にてこの度の東日本大震災で被災された方々に義援金をお願いしたところ、51,600円のご協力を頂きました。桜友会本部を通じて日本赤十字社に寄付いたしました。なお、桜友会全体で5月末現在約1千万円の義援金が集まったとのことです。
3. 役員の井上紀子さんが2月19日に会員の古賀加奈子さんのご主人が理事長をつとめる市川学園(千葉県市川市)に招かれ「父としての城山三郎」の演題で講演を行い、生徒に感動を与えました。

湘南桜友会の独自の“ブログ”を開設しています。

<http://oyshonan.exblog.jp>

是非ご覧ください。学習院桜友会のホームページからもリンクしています。

投稿を希望される事項がありましたら事務局

浦田E-メール：k-urata@s6.dion.ne.jp までご連絡ください。

「地引網大会のお知らせ」

編集後記

今年も地引網を企画しました。毎回ご家族連のご参加が多く、みんなで網を引き、宝探し大会で子供達が主役のにぎやかな雰囲気なかで、家族サービスをしながら同窓生と地魚の天ぷらを肴に冷えた美味しいビールを楽しみましょう。

6月になりました。藤沢市議会でも定例会が始まり、議員控室で本欄を執筆しております。新しい生活にも徐々に慣れつつも、責任の重みを日々感じております。節電とクールビズが本格化する季節ですが、藤沢市役所はこの夏30%の節電を目指すそうです。果たして結果やいかに。(佐藤清崇)

当日は麦わら帽子とアロハシャツに短パンで皆様のご参加をお待ちしています。

【日時】平成23年7月30日(土)8時30分集合。

【場所】辻堂海岸「五ろ引網」

【会費】大人3,000円(天ぷら、飲み物込み)
子供(小学生以下無料)

「旅行会のお知らせ」

ご好評につき、本年もバス日帰り旅行を企画しています。旅行開催日、コース内容は追ってお知らせいたします。

会費納入のお願い!

年会費未納の方は2,000円を下記にお振込みをお願いします。

- * 郵便口座番号：00270-6-93815
- * 加入者名：湘南桜友会
- * 4月に送付した振込用紙をご利用いただくと、振込手数料がかかりません。